

# 家畜衛生だより 平成30年5月号

紀北家畜保健衛生所 電話 073-462-0500  
 紀南家畜保健衛生所 電話 0739-47-0974  
 紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所 電話 0735-58-1481

## 平成29年度における高病原性鳥インフルエンザ発生状況等について

昨シーズンの高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）発生状況・特徴等について、農林水産省より公表されましたのでその概要を紹介します。

### ① 国外での発生状況

アジア、欧州、中東、アフリカ等で家きん農場での HPAI 発生が継続しています。近隣国では、特に韓国（昨年10月以降の発生件数22）および台湾（同86）での発生が多くなっています。さらに台湾では4月以降も散発しており、予断を許さない状況が続いています。

### ② 国内での発生状況

平成29年度の家きん農場での HPAI 発生は香川県での1例のみでした。また、野鳥での確認は島根県、兵庫県及び東京都の3都県で、前年度に比べ少ない傾向でした。



### ③ 今回の発生農場での症状

今回の発生では、死亡鶏が散在し、特徴的な症状もみられなかったことから、当初は大腸菌症と診断されました。HPAI 感染鶏は通常元気喪失、産卵率の低下、鶏冠や肉垂等の変色(チアノーゼ)等の特徴的な症状を示しますが、急性例ではしばしば症状を示さずに急死することがあるため、大腸菌症や暑熱ストレスによるものと間違われることがあります。



チアノーゼ



沈うつ・目の浮腫

<出典>

農水省：平成29年度における  
高病原性鳥インフルエンザの発  
生に係る疫学報告書

#### ④今回問題視された点とその対応

今回の香川県での事例では、通報当日の簡易検査および遺伝子検査では判定できず、翌日の再検査で HPAI の疑似患畜と判定されました。それは、

- ・感染鶏からのウイルスの排せつ量が非常に少なかった。
- ・そのため、感染が拡大せず、簡易検査や遺伝子検査の結果が一定の傾向を示さなかった。

からです。この状況を踏まえ簡易検査対象羽数を増やす、確実な採材方法に変更する等の検査方法の見直しをすることとなりました。

#### ⑤発生農場への侵入経路

発生農場付近には、野鳥が飛来するため池があり、小動物の生息に適した雑木林もあったことから、野鳥からもたらされたウイルスが野生動物等によって鶏舎内に持ち込まれた可能性が考えられました。ただしこれは、例年通り指摘されている侵入経路でもあります。

#### ⑥予防対策等

従来よりお伝えしているとおり、HPAI に限らず一般的な伝染病の予防対策として、特に以下について再確認をお願いします。

##### ・ウイルスの侵入防止対策

農場に出入りする車両や人・物の消毒、防鳥ネットの設置、鶏舎の破損の修繕、鶏舎開口部の隙間対策、鶏舎周辺の整理・整頓、樹木のせん定・草刈りの実施、等

**万が一、家きんで異常を確認した場合は家畜保健衛生所に連絡し、状況等を伝えてください。HPAI 含め、全ての伝染病の早期の通報が被害拡大を防止する第一歩です。**

【参考】平成 29 年度における高病原性鳥インフルエンザの発生に係る疫学報告書：  
<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/attach/pdf/index-72.pdf>